

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	栃木県県土整備事業協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		栃木県県土整備事業協議会参画事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		栃木県県土整備事業会則	事業期間	開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県県土整備事業協議会に構成員として参加し、負担金を支出している。協議会主催の会議に出席し、国への要望活動を行っている。 ※栃木県県土整備事業協議会とは、栃木県内の道路、河川及び治水砂防並びに都市計画事業の円滑な推進と普及を図ることを目的として、県内地方公共団体が組織している団体である。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県県土整備事業協議会が行う国への要望活動により、国・県又は市が行う県土整備事業の促進を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
要望活動参加団体数	団体	3	3	3	3	3
要望事項数	事項	9	8	9	9	9

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県県土整備事業協議会に負担金を支出し、会議（1回／年）に出席する。 (栃木県県土整備促進協議会の活動) 会議（1回／年）を開催し、国への要望活動を行っている。また、情報収集や参画団体へ、情報提供も実施している。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
活動参加回数	回	1	1	2
事業費計	千円	296	245	229
一般財源	千円	296	245	229
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	要望活動を行うことによって、栃木県内の道路、河川及び治水砂防等の円滑な推進と普及が図られている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
要望活動参加団体数	団体	3	3	3	値が大きいほど良い	効果は変わらない
要望事項数	事項	9	8	9		

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に栃木県内の道路、河川及び治水砂防並びに都市計画事業の円滑な推進と普及を要望し、必要な支援を実施していく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①栃木県県土整備事業協議総会への参加 ②要望活動への参加 ③負担金の支払い
---	---

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	都市計画道路3・4・201号高砂植下線整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課		都市計画道路3・4・201号		款	8	新規or継続	継続事業
	係	道路建設係		高砂植下線整備事業		項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H23	実施方法	一部委託
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度	R10	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						
				道路法、条例等					
				道路法 道路構造令					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県が施工する主要地方道桐生岩舟線の歩道整備事業と併せ、それとの交差点以南の市道330mの歩道整備・道路拡幅により、歩行者及び自転車等の安全確保及び通過車両の円滑な通行確保を効率的に行う。 事業区間L=330m（第1工区 L = 110m、第2工区 L = 110m、第3工区 L = 110m） 計画幅員W = 18.0m 歩道幅員W = 3.0m（両側）
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・歩行者、自転車利用者の安全確保を図る。 ・通過車両の円滑な通行を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		第2工区 整備率	%	100	100			
		第3工区 整備率	%			2.3	25.4	58.4
		(事業費ベース)						

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	【令和4年度繰越】 ・道路改良工事 L=103.6m（第2工区） ・電線共同溝引込管等設備工事等委託（東電・NTT） 【令和5年度】 ・道路改良工事 L=122.8m（第2工区） （令和6年度へ繰越） ・用地測量業務委託	活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事延長（完成）	m	0	0	0
		用地買収	件	3	0	0
		物件補償	件	3	0	0
		事業費計	千円	32,047	48,447	57,947
		一般財源	千円	2,661	6,322	10,295
		特定財源（国・県・他）	千円	29,386	42,125	47,652
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・第2工区の道路改良工事が遅延している。 ・電線共同溝工事により、道路上の無電柱化が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		第2工区 整備率	%	81.9	88.4	95.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
		第3工区 整備率	%			0.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
		(事業費ベース)						

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

第2工区の道路改良工事が遅延しているため早期完成に努め、第3工区以南についても計画的な整備を図る必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	渡良瀬川・利根川架橋促進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	交通政策課		款	2	新規or継続	継続事業
	係	交通政策係		科目	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H10	実施方法
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり	終了年度			事業分類
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進				参画事業

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	渡良瀬川・利根川架橋促進協議会（館林市、明和町、羽生市、佐野市）へ参画し、渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備を実現するための研究や要望活動等を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が渡良瀬川及び利根川への架橋を含む広域幹線道路の整備の重要性を認識するため機運醸成に取り組み、整備促進に繋げていく。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
幹線道路網が整備され、目的地へ行きやすくなった、また通行しやすくなった。	%	84.6	84.7	84.8	84.9	85.0

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	協議会活動 ・幹事会「第1回5/9（書面）、第2回10/13（対面）」 ・総 会「7/12（対面）」 ・研究会「第1回12/21（対面）、第2回3/27（対面）」 ・3 県知事要望「群馬県12/22、栃木県1/19、埼玉県1/30」
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
要望活動数	回	3	3	3
会議等出席回数	回	1	4	5
事業費計	千円	31	31	30
一般財源	千円	31	31	30
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	3県に要望活動を実施したが、県の計画等への箇所付けに至らなかった。
------------------	-----------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
幹線道路網が整備され、目的地へ行きやすくなった、また通行しやすくなった。	箇所	61.2	61.1	60.7	値が大きいくらい良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数1指標
	指標全体効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

3 県に整備の必要性を認識してもらうため、平成 9 年に作成された報告書の改訂作業を進めている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
引き続き報告書の改定作業を進めるとともに、地域住民の機運醸成を図るための取組について協議会において検討していく。

事業名	南部地域道路網調査検討事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	交通政策課		南部地域道路網調査検討事業		款	2	新規or継続	新規事業
	係	交通政策係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度	R5	事業分類	検査・調査事務
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	本市南部地域の道路のあり方について調査検討を行い、第 2 次佐野市都市計画マスタープラン等の広域幹線道路及び補助幹線道路に位置付けられている、南部幹線（渡良瀬川架橋を含む）及び南部道路について、本路線に期待される役割を明確にするため道路の路線検討業務を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	持続可能なまちづくりの推進や大規模災害への備え等に資する道路ネットワークの構築を図るため、都市計画マスタープラン等の位置付けられている、本市南部地域の骨格となる南部幹線及び南部道路、渡良瀬川架橋を含めた道路のあり方について調査検討を行う。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
調査検討業務進捗率	%			100		

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第 2 次佐野市都市計画マスタープラン等で構想路線としている「南部幹線」及び「南部道路」についての路線検討調査、路線検討を実施した。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
業務委託	件			1
事業費計	千円	0	0	9,988
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			9,988
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	適宜打合せ協議を実施し、履行期間内に全ての業務を完了した。
------------------	-------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
調査検討業務進捗率	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本業務は、本市が参画している渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会で整備要望続けている、広域幹線道路及び架橋の整備に繋がるものであり、本業務の成果を当協議会と共有し整備促進に活用していく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業終了
--	------------------

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	関東国道協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	関東国道協会会則	事業期間	開始年度	H 2 年	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	関東国道協会の会員となり、負担金を支出している。また、協会主催の会議に参加し、国等、関係機関に対して、国道整備促進の要望活動を実施している。 ※関東国道協会とは、国道等、道路の重要性について、広く国民の理解を求めるとともに、関東地域の国道等事業の円滑かつ着実な推進に寄与することを目的とし、関東地区全都県、全市町村を会員として構成している団体である。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	関東国道協会による国への要望活動等により、市内の国道等の事業が促進される。
-------------------------	---------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
要望活動参加団体	団体	342	343	341	341	341
要望事項	事項	4	3	3	3	3

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 関東国道協会に負担金を支出するとともに、年 1 回の会議に出席する。 (関東国道協会) 年 1 回の会議開催、情報収集と会員（都・県・市町村）への情報提供、国への要望活動
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
参加活動回数	回	2	2	2
事業費計	千円	0	36	39
一般財源	千円	0	36	39
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	要望活動を実施することによって、関東地域の国道等事業の推進が図られている。
------------------	---------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
要望活動参加団体	団体	342	343	341	値が大きいくほど良い	効果が下がった
要望事項	事項	4	3	3		

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に国道整備等を要望し、必要な支援を実施していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	①総会・要望活動への参加 ②負担金の支払い

事業名	国道５０号バイパス建設促進期成同盟会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

１．基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S41	実施方法
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり		終了年度		事業分類
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進				参画事業

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	国道５０号バイパス建設促進期成同盟会に構成員として参加し、会費として負担金を支出している。同盟会主催の会議に参加し、国等関係機関に対して整備促進の要望を行っている。 ※国道５０号バイパス建設促進期成同盟会とは、栃木県・群馬県内の国道５０号バイパスの建設促進を図ることを目的とし、沿線の９市を会員として構成している団体である。
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	国道５０号バイパス建設促進期成同盟会が行う国への要望活動により、一般国道５０号線の４車線化が促進される。
-------------------------	--

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
構成団体数	団体	9	9	9	9	9
要望事項数	事項	4	4	4	4	4

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 国道５０号バイパス建設促進期成同盟会に構成員として参加し、負担金を支出する。また、年２回の会議に出席する。 (国道５０号バイパス建設促進期成同盟会の活動) 年２回の会議を主催、国への要望活動、情報収集と会員への情報提供。
--------------------------	--

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会議参加回数	回	2	2	2
事業費計	千円	22	22	22
一般財源	千円	22	22	22
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	要望活動を行うことにより、国道５０号バイパスの建設促進が図られている。
------------------	-------------------------------------

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
構成団体数	団体	9	9	9	値が大きいほど良い	効果は変わらない
要望事項数	事項	4	4	4		

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※１０万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に栃木県・群馬県内の国道５０号バイパスの建設促進を図る要望を実施していく。
--

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①幹事会への参加 ②総会への参加 ③負担金の支出
---	--

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	国道２９３号整備促進期成同盟会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

１．基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		国道 2 9 3 号整備促進期成同盟会参画事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		国道 2 9 3 号整備促進期成同盟会規約	事業期間	開始年度	S 4 5	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	国道２９３号整備促進期成同盟会に構成員として参加し、会費として負担金を支出している。同盟会主催の会議に出席し、国等関係機関に整備促進の要望活動を行っている。 ※国道２９３号整備促進期成同盟会とは、栃木県・茨城県内の一般国道２９３号線の整備促進を図ることを目的に、沿線１０市１町を構成員としている団体である。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	国道２９３号整備促進期成同盟会が実施する要望活動により、一般国道２９３号線の整備が促進される。
-------------------------	---

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
要望活動参加団体数	団体	11	11	11	11	11
要望事項数	事項	9	9	9	9	9

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	市が、国道２９３号整備促進期成同盟会に負担金を支出し、同盟会主催の会議（年２回）、国への要望活動に出席している。同盟会は、会議を年２回主催し、国への要望活動を実施している。道路整備に関する情報収集を行い、会員各市町へ情報提供している。本年度の要望活動については、感染症対策に鑑み、代表者及び事務局のみで実施した。繰越金が多いため、令和５年度の負担金の請求はなかった。
--------------------------	---

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
活動参加回数（書面参加含）	回	3	2	2
事業費計	千円	25	25	0
一般財源	千円	25	25	0
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	栃木県と茨城県を結ぶ基幹的生活道路である国道２９３号線の道路機能の更なる向上が図られている。
------------------	--

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
要望活動参加団体数	団体	3	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
要望事項数	事項	10	5	9		

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※１０万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に国道２９３号線の整備促進を図る要望を実施していく。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	①担当課長会議への参加 ②総会への参加（書面開催） ③要望活動への参加 ④負担金の支払い

事業名	佐野行田線外 2 線整備促進同盟会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	S 3 7	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野行田線外 2 線整備促進同盟会に構成員として参加し、会費として負担金を支出している。また、同盟会主催の会議に参加し、国等関係機関に対して、整備促進の要望を行っている。 ※佐野行田線外 2 線整備促進期成同盟会とは、佐野市から行田市までの主要地方道佐野行田線全線及び関係 2 線（一般国道 1 2 2 号線・2 9 3 号線）の整備促進を図ることを目的とし、沿線の 4 市 1 町を会員として構成している団体である。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野行田線外 2 線整備促進同盟が行う要望活動により、主要地方道佐野行田線及び一般国道 1 2 2 号線、一般国道 2 9 3 号線の道路整備が促進される。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		要望活動参加団体数	団体	5	5	5	5	5
		要望事項数	事項	2	2	2	2	2

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	市は、佐野行田線外 2 線整備促進同盟会に構成員として参加し、会費として負担金を支出している。 同盟会は会議を年に 4 回程度開催（書類開催も含む）し、県への要望活動を実施している。また、情報収集と会員各市町への情報提供を行っている。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議参加回数	回	2	2	2
		事業費計	千円	13	13	13
		一般財源	千円	13	13	13
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	要望活動を行うことにより主要地方道佐野行田線等の整備促進が図られている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		要望活動参加団体数	団体	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		要望事項数	事項	2	2	2		

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に佐野行田線外 2 線の整備促進を図る要望を実施していく。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①幹事会への参加 ②総会への参加（書面開催） ③負担金の支払い
--	---

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	佐野市道路愛護会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市道路愛護会に補助金を支出して支援する。 ※佐野市道路愛護会とは、市内の道路の維持保全のため、道路愛護活動を促進することを目的とし、市長が会長となり、構成している団体である。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市道路愛護会を支援することにより、参加団体（町会）による自主的な道路環境保全活動が促進される。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
愛護会参加団体	団体	168	168	168	168	168

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 佐野市道路愛護会に補助金を支出し、愛護会活動を支援する。 (佐野市道路愛護会の活動) 事務局：清掃用ゴミ袋の配布、ゴミの収集、支部の計画書・実績報告書の取りまとめ、上部団体である栃木県道路河川愛護会への報告。 新型コロナ流行の影響で、活動団体が減ったため、令和5年度は予算を減額した。 今後の活動状況により予算を編成していく。

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
市道延長	m	1,155	1,155	1,156
事業費計	千円	776	776	576
一般財源	千円	776	776	576
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市内の道路の維持保全を期するため自主的な道路愛護活動の促進を図っている。 道路愛護活動に参加した団体が90団体から128団体に増加した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
愛護会参加団体	団体	94	90	128	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	0指標
	指標全体
	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナによる自粛期間が明けて、参加団体が増加した。報告書のとりまとめを速やかに行い、適切に補助金を交付していくことが課題である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	①愛護活動参加団体への活動予定表の送付、受け取り ②愛護活動参加団体への実績表の送付、受け取り ③実績表の集計、補助金額の割り振り ④補助金の支給

事業名	全国街路事業促進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	道路河川課		全国街路事業促進協議会参画事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		全国街路事業促進協議会規則	事業期間	開始年度	S40	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	全国街路事業促進協議会に構成員として参加し、会費として、負担金を支出する。また、協議会主催の会議に出席し、国等関係機関に対し、整備促進の要望活動を行う。 ※全国街路事業促進協議会とは、都市計画道路の速やかな整備、充実を積極的に推進することを目的とし、全国の都道府県、市町村、協議会に賛同する団体が会員として構成している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国街路事業促進協議会が行う要望活動により、都市計画道路の整備が促進される。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		要望事項数	事項	7	7	8	8	8

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 全国街路事業促進協議会に構成員として参加し、会費として負担金を支出する。 協議会主催の会議（1回／年）に出席する。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		活動参加数	回	2	1	1
		事業費計	千円	18	23	23
		一般財源	千円	18	23	23
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	要望活動を行うことにより、都市計画道路の速やかな整備、充実が図られている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		要望事項数	事項	7	7	8		

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない		費用は下がった		
				費用の増減無し		
				費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、構成団体と共に国等に整備促進を図る要望を実施していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	①要望活動への参加 ②負担金の支払い

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	道路橋りょう管理事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	法定外公共物管理条例	事業期間	開始年度	S40	実施方法	一部委託
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市道及び認定外道路の管理に要する施設・設備等の維持管理費を賄う。
------	----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設・設備等を適切に維持管理することにより、道路の適切な維持管理が可能となる。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市民等からの道路修繕依頼数	件	1,010	1,066	1,097	1,000	1,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・詰所・重車両倉庫等の維持管理費 電気料・水道料・修繕費、建物損害共済保険等 ・現業職作業用被服購入費 ・法定外公共物管理 消耗品・測量業務委託・システム借上・システム保守委託・土地借上料 ・違法放置車両撤去手数料
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
市道延長	km	1,155	1,155	1,156
事業費計	千円	4,139	2,967	2,768
一般財源	千円	4,139	2,967	2,768
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市民が円滑に移動できる市道の管理が図られている。
------------------	--------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市民等からの道路修繕依頼数	件	1,010	1,066	1,097	値が小さいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		○
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民等からの道路修繕依頼について、年々複雑化しており、効率的な処理が求められる。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） ①被服貸与等の効率的な運用 ②正確な支出の管理

事業名	道路施設管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	道路河川課		道路施設管理事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		法定外公物管理条例	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市が管理する道路附属物に関わる維持管理費及び道路賠償責任保険料を賄う。
------	-------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	道路が通常有する安全性を確保するために、適切に管理する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		道路賠償事故件数	件	0	0	0	0	0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	○道路を維持管理するために必要な光熱水費等を支出した。 ・街路灯の電気料 ・アンダーポンプ場の電気料・水道料・管理業務委託料 ・ポケットパーク水道料 令和5年度はh街路灯のLED化により需用費の支出が減額となつた。 R4→16,514千円 R5→10,286千円	活動指標	単位	R3	R4	R5
		市道の実演長	m	1,155	1,155	1,156
		事業費計	千円	1,689	18,530	12,160
		一般財源	千円	1,689	18,530	12,160
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市道が有する安全性の確保、賠償事故発生時の保険による対応がおこなわれている。 賠償事故発生時の賠償額の保障、訴訟案件の弁護費用等が賄われる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		道路賠償事故件数	件	3	0	2	値が小さいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果が下がった				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

賠償事故について年間数件発生している。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	道路の管理瑕疵を減らすため、適切な道路管理、未然の整備を進める。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	道路台帳補正事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		道路台帳補正事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	道路法第 2 8 条		開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり			終了年度		事業分類	計画策定・管理事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	道路法 2 8 条に基づく道路台帳の調製を行う。 具体的には、道路の形状に影響を与えた道路工事等を道路台帳に反映させるものである。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	道路台帳の正確性を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		台帳記載路線数	路線	3,090	3,090	3,096	3,096	3,096

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	市道道路改良工事、その他工事による道路形状に変更があった箇所について、道路台帳を補正・更新した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		市道の実延長	km	1,155	1,155	1,156
		事業費計	千円	20,713	20,933	21,024
		一般財源	千円	20,713	20,933	21,024
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	道路法第 2 8 条に基づいた、道路情報の記載された台帳が整備されている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		台帳記載路線数	路線	3,090	3,090	3,096	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

栃木県より移管を受けて市道認定した道路について、安足土木事務所と調整して順次道路台帳に掲載していく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
安足土木事務所からの引き継資料を順次受け取り、道路台帳補正用の資料を作成して、委託業者へ提供し、道路台帳へ掲載する。	